

保 証 書

本製品は、幾多の検査、および品質管理を経てお届けしております。お客様での正常使用の中で万一故障した場合には、この保証書記載内容にもとづき対応いたします。下記「お問い合わせ窓口」までご連絡ください。その際には必ずこの保証書をご用意ください。

なお、この保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

*設置場所変更・ご移転の際には、事前に下記「お問い合わせ窓口」までご相談ください。

型 式	UD-5000PG-SP-B/UD-5000PG-LT-B		
製造番号	※「各部の名称」ページ参照	保証期間	(ご購入日) 年 月 日から 1年間

個人情報の「利用目的について」はこの枠内をご参照ください。

ご記入いただきました、お名前、ご住所、お電話番号等の個人情報は、保証期間内のサービス活動および、その他の安全点検活動などの為以外には利用いたしません。詳しくは、<https://www.saraya.com/privacy> でご確認ください。
お電話でのお問い合わせは、06-6797-3111個人情報担当(平日9時~18時)までお問い合わせください。

フリガナ			
ユーザー名			
ご住所	<input type="text"/>	都 道 府 県	市 区 郡
	TEL. ()	-	
	FAX. ()	-	
ご担当部署		ご担当者	
設置場所			

保 証 規 定

1. 「取扱説明書・本体貼付ラベル」などの注意に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、**無料修理**いたします。ただし、離島およびこれに準ずる遠隔地への出張対応は、出張に要する実費をいただきます。(※当社の判断にもとづく本製品の全部または一部の交換を含みます)
 2. 次の場合には、保証期間内であっても保証いたしません。
 - (イ) 使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障・損傷。
 - (ロ) 納品後の移動・落下・輸送による故障・損傷。
 - (ハ) 火災・塩害・ガス害・異常水圧・異常水質、および地震・雷・風水害・その他の天災地変による故障・損傷。
 (二) 保証書のご提示がない場合。
 (ホ) 保証書に未記入、あるいは字句を書き換えられた場合。
 3. この保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- この保証書は、明示した期間および条件のもとにおいて無料対応をお約束するものです。従って、この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。詳しくは「取扱説明書」などをご覧ください。なお、ご不明な場合はお問い合わせ窓口までお問い合わせください。

お問い合わせ窓口 〒546-0013 大阪市東住吉区湯里2-2-8
サラヤ株式会社 TEL.06-6797-2525 URL.<https://www.saraya.com/>

電話受付:平日(土日および祝祭日、弊社休日を除く) 9:00~18:00

●お問い合わせ窓口では、製品のご使用方法やメンテナンスに関するお問い合わせ、最寄りのサービス拠点のご案内を承っております。

SARAYA

保証書付 屋内用

自動手指消毒器 プロテゲートプライム UD-5000PG

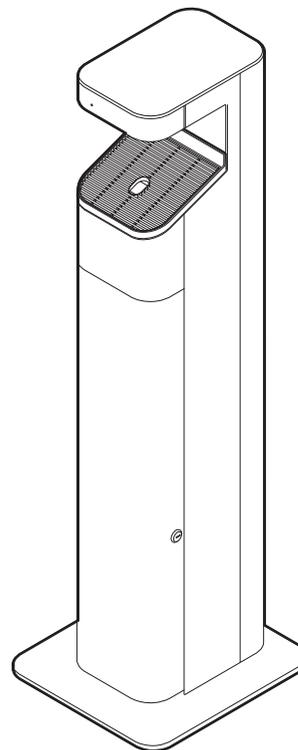
取扱説明書

型 式 UD-5000PG-SP-B(スプレー仕様)
UD-5000PG-LT-B(手指消毒ローション仕様)

お買い上げいただき、誠にありがとうございます。本紙をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。お読みになったあとは、ご使用になる方がいつでも確認いただける場所に保管してください。ご不明な点は、当社「お問い合わせ窓口(裏表紙に記載)」までお問い合わせください。

目 次

安全上のご注意	1
・設置上の注意	
・使用上の注意	
各部の名称とはたらき	4
床面に固定する場合	8
お使い始めの前に	9
・扉の開閉方法	
・ご使用前の準備	
ご使用方法	10
・薬液ボトルの取り付け方法	
・薬液ボトルの交換方法	
・手指の消毒方法	
お手入れ方法	15
・外観の掃除方法	
・手指センサーと人感センサーの掃除方法	
・吐出の状態が悪いときの対処法	
・保管方法	
定期点検	19
修理を依頼される前に	20
仕様	21
保証とアフターサービス	22
保証書	裏表紙
お問い合わせ窓口	裏表紙



付 属 品

- 取扱説明書……………本紙
- 鍵……………2個
- インナーチューブ……………1セット
- メッシュ……………1個
- 火気厳禁ラベル……………1枚

ご使用前に、この「安全上のご注意」を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
 ここには、ご使用になる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守り
 いただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	誤った取り扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの		行為を禁止する記号です。	例:  
 注意	誤った取り扱いをしたときに軽傷、または家屋・家財などの損害に結びつくもの		行為を強制、指示する記号です。	例:  

設置上の注意	
 警告	 本紙で禁止・指示した規格以外での設置は行わない。 事故やケガ、故障の原因になります。
 湿気やほこりの多い場所に設置しない。 火災や感電、故障の原因になります。	 結露が生じる場所に設置しない。 発火や感電、製品の故障や劣化の原因になります。
 丈夫で水平な場所に確実に取り付ける。 転倒・落下によるケガや故障、また誤作動の原因になります。	 火気の近く、火花が出る器具の近くに設置しない。 火災や故障、変形の原因になります。
 油やガスの漏れる恐れのある場所に設置しない。 火災の原因になります。	 直射日光の当たる場所、高温になる場所に設置しない。 火災や故障、変形、誤作動の原因になります。
 換気が十分に行える場所に設置し、換気する。 換気が不十分だと揮発した薬液が充満する可能性があり、引火したり気分が悪くなる恐れがあります。	 据え付けおよび移設は、お買い求めの販売店または専門業者に依頼する。 ご自分で工事され、不備があると、液漏れや、感電・火災などの原因になります。

設置上の注意	
 注意	 蛍光灯などの照明が近い場所や、強い光が当たる場所に設置しない。 誤作動の原因になります。
 設置場所によっては漏電ブレーカーの取り付けが必要。お買い求めの販売店または専門業者に依頼する。 漏電ブレーカーが取り付けられていないと、感電の原因になります。	

保証について

- **裏表紙に保証書が付いています。**
保証書に必要事項をご記入のうえ、内容をご確認いただき大切に保管してください。
- **保証期間はご購入の日から1年間です。**
なお、保証期間中でも無料保証できないことがありますので、保証書をよくお読みください。
- **保証期間経過後の修理については、お買い求めの販売店、もしくは当社の「お問い合わせ窓口（裏表紙に記載）」にご相談ください。**
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。
- **保守部品の最低保有期間は、製造日から5年です。**
保守部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
最低保有期間が経過した場合、修理が不可能になるか、可能であっても、修理費用や修理期間が保有期間内とは異なることがあります。
保有期間内であっても、部品供給メーカー等の都合で、修理が不可能になる場合があります。

アフターサービスについて

- **アフターサービスでお困りの場合は**
アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合はお買い求めの販売店、もしくは当社の「お問い合わせ窓口（裏表紙に記載）」にご相談ください。
※故障の場合は、ご購入日、本製品の型式と、できるだけ詳しい故障状態をお知らせください。
- **転居されるときは**
ご転居により、お買い求めの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もってお買い求めの販売店、もしくは当社の「お問い合わせ窓口（裏表紙に記載）」にご相談ください。
ご転居先での販売店、もしくは最寄りの当社サービス拠点を紹介させていただきます。

サラヤメンテナンスシステム

本製品のメンテナンスは、当社サービスマンがお引き受けいたします。設置された本製品は、1台ずつ資料を当社にて記録し(コンピューターに登録)メンテナンス報告に基づいて本製品のご利用状況をお知らせするなど、きめ細やかなアフターサービスで、ご担当者様のお手伝いもしております。

商品のメンテナンスに関する情報はこちら



項 目	内 容	
名 称	自動手指消毒器 プロテゲートブライム	
型 式	UD-5000PG-SP-B/UD-5000PG-LT-B	
外 形 寸 法	W344×D375×H1171mm	
製 品 質 量	24kg (梱包、付属品、梱包部品、薬液は除く)	
主 な 材 質	ブース、トレー、メッシュ：PP 外装材：アルミ合金 外装補強材：SUS304	
電 源 電 圧	AC100V 50/60Hz (本体DC12V)	
電 源 コ ー ド	電源コード長さ 約0.7m	
定 格 消 費 電 力	待機時：3.0W、作動時：7.0W (スプレー仕様) 待機時：3.0W、作動時：8.0W (手指消毒ローション仕様)	
使 用 環 境 温 度	5～40℃ (薬液に適切な流動性が保たれていること)	
使 用 環 境 湿 度	20～85% (結露なきこと)	
手 指 セ ン サ ー 方 式	赤外線センサー	
人 感 セ ン サ ー 方 式	焦電型赤外線センサー	
使 用 薬 液 (※)	吐 出 量	スプレー：約0.7mL/回 手指消毒ローション：約1mL/回
	薬 液	当社指定の薬液 最大搭載量 5L × 2本
	吐 出 方 式	ダイヤフラムポンプと吐出ノズル

※ 使用薬液は、当社指定の薬液をお使いください。
他の薬液を使用した場合、トラブルが生じる恐れがありますのでお使いにならないでください。

本仕様は性能向上のため、予告なく変更されることがありますのでご了承ください。

使用上の注意



警告



絶対に分解・修理・改造は行わない。
ケガや感電、故障の原因になります。
修理についてはお買い求めの販売店または
当社のお問い合わせ窓口にご相談ください。



**揮発性の引火物や可燃性スプレー
を近くで使用しない。**
引火による火災の原因になります。



**電源コードを傷付けたり、過剰な
ストレスを加えたり、加熱したり
しない。**
火災や感電の原因になります。



**指定する電源 (AC100V) 以外
では使用しない。**
火災や感電の原因になります。



**電源プラグは刃の根元まで確実に
差し込み、ほこりが溜まらないよ
うに定期的に清掃する。**
火災や異常発熱の原因になります。



**電源コードを持たずに、電源プラグ
を持ってコンセントから抜く。**
電源コードが破損し、火災や感電の原因
になります。



**薬液の取り扱いについては、使用
する薬液の注意事項に従う。**
事故やケガの原因になります。



**電源は交流100Vで定格15A以上
のコンセントを単独で使用する。**
他の器具と併用すると分岐コンセント部が
異常発熱して発火の原因になります。



**本紙で禁止・指示した規格以外
での使用は行わない。**
事故やケガ、故障の原因になります。



**タバコ、ローソクなどの火気を
近づけない。**
火災や故障、変形の原因になります。



**トレーに溜まった消毒液を捨てる
ときは、火気のある場所に捨てない。**
火災の原因になります。



濡れた手で電源プラグを持たない。
感電やショートの原因になります。



**電源プラグやコードにいたみがあるとき、
コンセントの差し込みがゆるいときなどは使用しない。**
発火や感電、ショートの原因になります。



**コンセントや配線器具の定格を
超える使い方をしない。**
たこ足配線などで定格を超えると、火災の
原因になります。



**異常発生時にはただちに運転を
停止し、電源プラグをコンセントから
抜く。**
火災や感電の原因になります。お買い求め
の販売店、または当社のお問い合わせ窓口
にご連絡ください。



製品に水をかけない。
漏電による感電や火災、故障の原因になり
ます。



薬液は絶対に飲まない。
健康を害する恐れがあります。

 スイッチを乱暴に押さない。 乱暴に扱うと故障の原因になります。	 手指の消毒以外の目的で使用しない。 薬液で顔や頭などを洗わない。薬液が目に入ると健康を害する恐れがあります。
 製品によりかかったり、製品の上に物を置かない。 落下によるケガや故障の原因になります。	 落としたりぶつけたりして、強い衝撃を与えない。 故障の原因になります。
 扉を乱暴に開閉しない。 故障の原因になります。	 製品を廃棄するときは、地方自治体の条例または規則に従う。
 扉の開閉時は指詰めにご注意する。 ケガの原因になります。	 定期点検や清掃を行う。 製品の安全および性能を保つため、定期点検や清掃作業を行ってください。
 点検や清掃のときは運転を停止する。 感電やケガの原因になります。	 長期間使用しないときや保管するときは以下の作業を行う。 18ページ「保管方法」をご参照ください。
 当社指定の薬液以外は使用しない。 思いがけない事故や、故障の原因になります。	 薬液はこぼさないように装着する。 こぼれた場合はすぐに拭き取ってください。すべて転倒するなどの事故や変色の原因になります。
 製品を移動させるときはトレーを空にして、薬液ボトルを取り外す。 液漏れの原因になります。	

故障かな?…と思ったら、まず次のことをお調べください。

症 状	調べるところ	ページ
正常に運転しないとき	電源スイッチが“OFF”(電源ランプが消灯)になっていませんか?	7
	電源プラグがコンセントにしっかり入っていますか?	9
	屋内配電盤のブレーカーやヒューズが切れていませんか?	—
	停電ではありませんか?	—
吐出しないとき	薬液がなくなっていないですか?(液切れランプが点灯していませんか?)	6
	薬液ボトル内にインナーチューブが取り付けられていますか?	10
	手指センサー部分が汚れていませんか?	16
	ノズルが目詰まりしていませんか?	16,17
	インナーチューブの先端メッシュが目詰まりしていませんか?	15,17
	ジョイントキャップは薬液ボトルとしっかり接続されていますか?	—
音がうるさいとき	ジョイントキャップは傾いて取付けられていませんか?	—
	本体に物が触れていませんか?	—
	据え付けた床面がしっかりしていますか?	—
	製品は確実に固定されていますか?	8

以上のことをお調べになり、それでも不具合が解消されない場合には、ご自分で修理なさらないで、電源スイッチを押し“OFF”(電源ランプが消灯)にしてから電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店、もしくは当社の「お問い合わせ窓口(裏表紙に記載)」にご相談ください。

機能停止要領

- ①電源スイッチを“OFF”(電源ランプが消灯)にします。
- ②電源プラグをコンセントから抜きます。

次の症状のときは、ただちに運転を停止してお買い求めの販売店もしくは、当社のお問い合わせ窓口(裏表紙に記載)にご連絡ください。

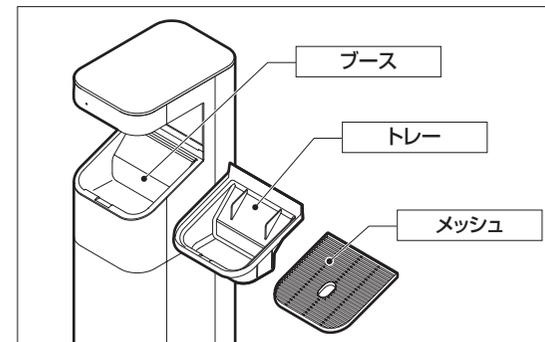
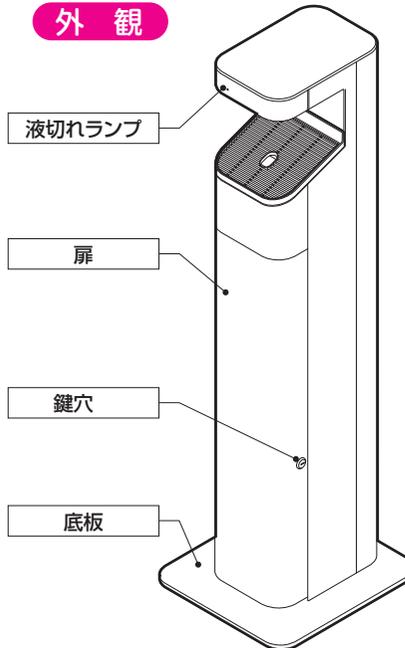
- (1) ブレーカー、ヒューズがたびたび切れるとき。
- (2) 電源プラグやコードが異常に熱いとき。
- (3) スイッチなどの動作が不確実なとき。
- (4) 本体内部に誤って異物や水が入ってしまったとき。

安心してお使いいただくために、定期的に次のような点検を行ってください。
 そのとき、もしご不審な点がありましたら、すぐにお買い求めの販売店もしくは、お問い合わせ窓口（裏表紙に記載）にご連絡ください。

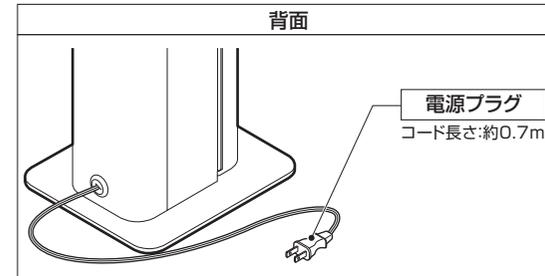
半年～1年に一度の点検

- 電源プラグがコンセントにしっかり入っていますか？
- 電源プラグに異常な発熱はありませんか？
- 電源コードに亀裂やすり傷はありませんか？
- 配管に液漏れがありませんか？

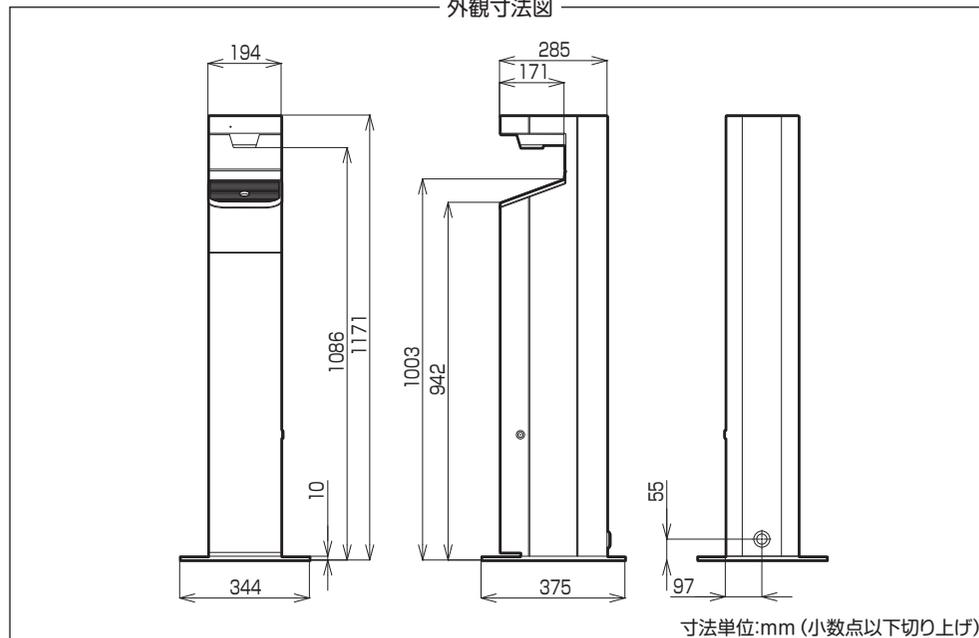
外観



背面



外観寸法図



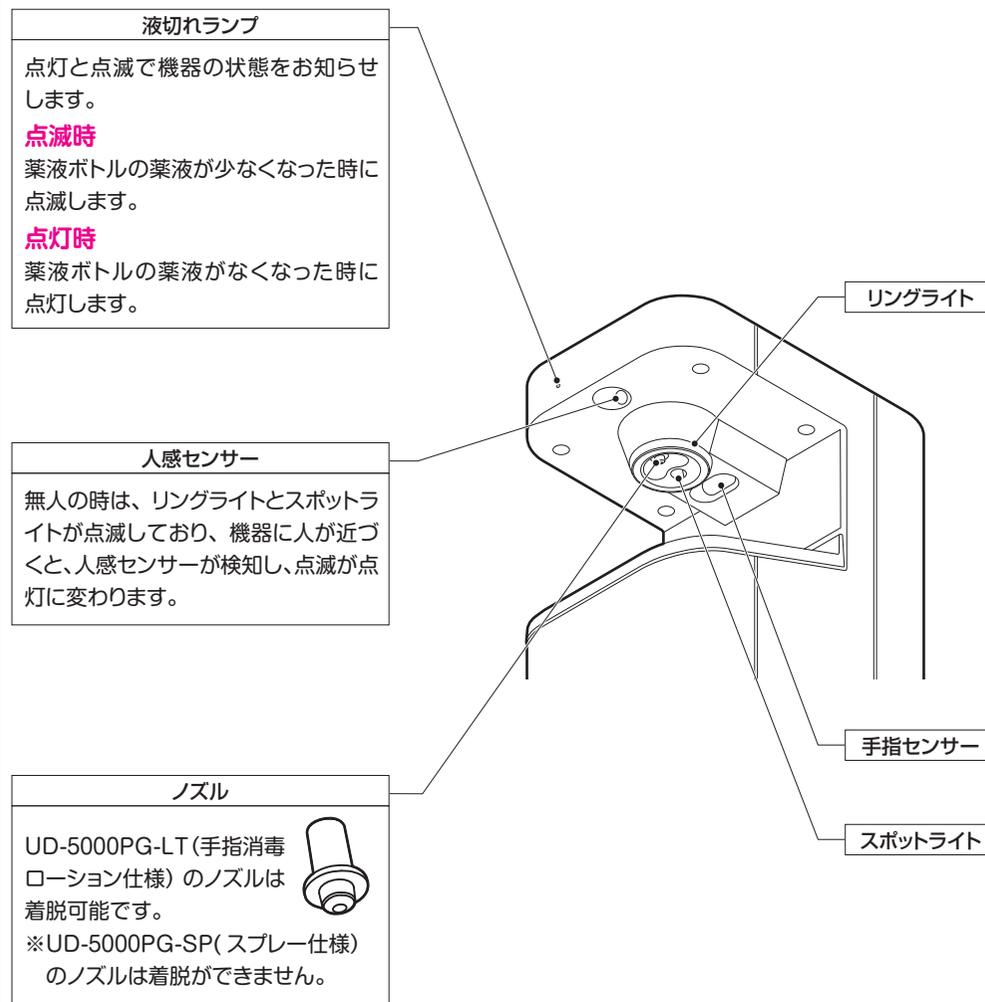
吐出の状態が悪いときの対処法

使用中に吐出量が少なくなる、吐出しなくなる、吐出状態に異常があるなどの場合は、ノズルとインナーチューブの先端メッシュの目詰まりが考えられます。その場合は次の手順でノズルとインナーチューブの先端メッシュの掃除を行ってください。

- ①扉を開け、電源スイッチを押し、“OFF”（電源ランプが消灯）にします。（7ページ参照）
- ②ジョイントキャップを外し、薬液ボトルを機器から取り出します。
- ③インナーチューブの掃除を行います。（15ページ参照）
- ④電源スイッチを押し“ON”（電源ランプが点灯）にします。
- ⑤薬液送りスイッチを1回押し、薬液送り（空運転）を行います。
- ⑥別の洗浄用容器を準備し、水またはぬるま湯（約30～40℃）を補充し、機器へ装着します。
- ⑦薬液送りスイッチを1回押し、ノズルからぬるま湯が吐出するまで、薬液送りを行います。
- ⑧約10分間ノズルと配管内にぬるま湯が入っている状態にしておきます。
- ⑨洗浄用容器を取り外します。
- ⑩配管内に残ったぬるま湯を排出するため、薬液送りスイッチを押し、薬液送り（空運転）を行います。
- ⑪スプレー仕様で、ノズル吐出穴の付着物（薬液の結晶やゴミ）が取れていない場合は、電源スイッチを押し“OFF”（電源ランプが消灯）にして、ブラシでノズルの付着物を取り除いてください。手指消毒ローション仕様の場合はノズルを取り外し水洗いしてください。
- ⑫薬液ボトルをボトル台に戻し、ジョイントキャップを接続します。
- ⑬電源スイッチを押し“ON”（電源ランプが点灯）にしたあと、14ページ「手指の消毒方法」と同じ手順で吐出テストを行い、吐出の状態を確認します。

注意

- ノズルの先端に異物が残っていないことを確認してください。作動不良の原因になります。
- UD-5000PG-LT（手指消毒ローション仕様）の場合は、着脱可能なノズルを外した状態で行ってください。



注意

人感センサーは、赤外線の変化を検出する焦電型赤外線センサーです。人体以外の熱源を検出した場合、熱源の温度変化及び移動がない場合には検出しないことがあります。一般的に、以下のような場合には注意が必要です。

1. 人体以外の熱源を検出する場合

- ①小動物が検出範囲に入った場合
- ②太陽光や白熱灯等の熱源、その他強い光源等の光線が、センサーに入射する場合
- ③冷暖房機器の温風・冷風や、加湿器の水蒸気などにより、周辺の温度が急激に変化した場合

2. 熱源を検出しにくい場合

- ①ガラスやアクリル等、赤外線を透過しにくい物体がセンサーと検出対象との間にある場合
- ②検出範囲内の熱源がほとんど動かない場合、もしくは高速に移動する場合

3. 検出エリアが大きくなる場合

周囲環境温度と人体との温度差が大きい場合、飛地的に検出するエリアが存在することがあります。

操作パネル**A:電源スイッチ**

スイッチを押すことに「電源ON/電源OFF」を切り替えます。

B:電源ランプ

電源ONの状態になると点灯します。

C:ボトル交換スイッチ

新しい薬液ボトルに交換した際に押すスイッチです。スイッチを押すことにより配管に薬液を供給し、通常に使用できる状態にします。また液切れランプ点滅表示用の使用回数カウントをリセットします。

(10～13ページの「薬液ボトルの取り付け方法」「薬液ボトルの交換方法」を参照してください)。

D:ボトル交換ランプ

ボトル交換スイッチを押すと、3秒間点滅した後、薬液を送り出している間、点灯します。

E:薬液送りスイッチ

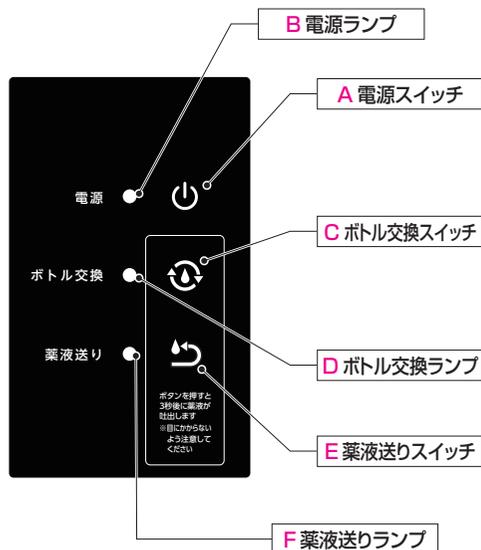
配管に薬液を供給し、通常に使用できる状態にします。(チューブ内に空気が溜まって薬液が吐出できなくなっている時など、薬液ボトルの交換以外で配管に薬液を供給する場合にご使用下さい。)

F:薬液送りランプ

薬液送りスイッチを押すと、3秒間点滅した後、薬液を送り出している間、点灯します。

注意

新しい薬液ボトルに交換した際にボトル交換スイッチではなく、薬液送りスイッチを押してしまった場合、使用回数のカウントをリセットするため、ボトル交換スイッチを押して下さい。誤ってボトル交換スイッチを押してしまった場合、使用回数のカウントがリセットされますので、液切れランプ点滅表示が正しく動作しません。使用回数のカウントにつきまして、次に新しい薬液ボトルに交換した際に、ボトル交換スイッチを押していただくことで、使用回数のカウントを正常な状態に復帰することができます。

**4 ノズルの掃除 (UD-5000PG-LT (手指消毒ローション仕様) の場合のみ)**

ノズルをつまんで機器から取り外し、水洗いします。清潔な布でノズルの水気をとり、もとの位置に戻します。汚れがひどい場合は、ぬるま湯で洗ってください。

注意

- ノズルは奥まで挿入してください。挿入が不十分な場合、ノズルの脱落やそれに伴う薬液の飛散などの不具合が起こる可能性があります。
- UD-5000PG-SP(スプレー仕様)のノズルは着脱ができません。

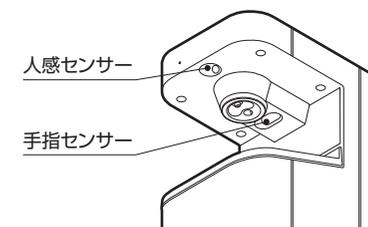
**手指センサーと人感センサーの掃除方法**

下記の手順で定期的(1カ月に1回程度)に清掃してください。センサー部に汚れが付くと、感知しにくくなったり、誤作動の原因になります。

- ①電源スイッチを押し、「OFF」(電源ランプが消灯)にします。(7ページ参照)
- ②ぬるま湯をふくませた柔らかい布でセンサー部を拭き取り、最後に柔らかい布でから拭きしてください。

注意

- センサー部には、水滴を残さないようにしてください。誤作動の原因になります。
- センサー部表面にキズなどをつけないでください。故障・誤作動の原因になります。



本製品を末永くお使いいただくため、定期的にお手入れをしてください。
 お手入れの際、必ず電源スイッチを押し“OFF”（電源ランプが消灯※7ページ参照）にしてから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

外観の掃除方法

1 本体の掃除

汚れは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。
 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤を含ませたやわらかい布で拭き取ってください。
 そのあと、水で濡らしてよく絞った布で洗剤を拭き取り、乾いたやわらかい布で拭いてください。

商品のメンテナンスに関する情報はこちら

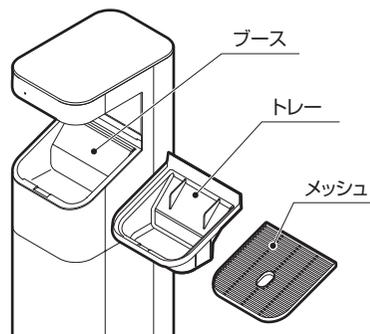


注意

- 本製品に水をかけないでください。電気部品に水がかかると、感電や火災の原因になります。
- 次のものは使わないでください。
 シンナー・ベンジン・アルコール・石油・粉石けん・みがき粉・中性洗剤以外の洗剤類・熱湯・酸・アルカリ・たわしなど
 化学ぞうきんを使用する際は、その注意書きに従ってください。

2 メッシュとトレーの掃除

メッシュとトレーを取り外し、トレーの中に溜まった薬液を捨てます。
 水洗いした後、から拭きし十分に乾燥させ、もとの位置に戻します。
 汚れがひどい場合は、ぬるま湯で洗ってください。

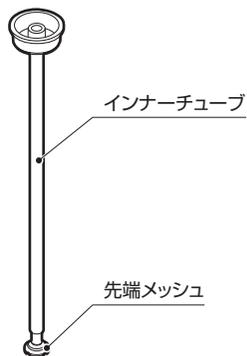


注意

溜まった薬液は各自治体のルールに従い廃棄してください。
 薬液の廃棄時は火気に注意してください。

3 インナーチューブの掃除

インナーチューブを取り出し、インナーチューブと先端メッシュを水洗いします。清潔な布でインナーチューブと先端メッシュの水気をとり、十分に乾燥させ、もとの位置に戻します。
 汚れがひどい場合は、ぬるま湯で洗ってください。



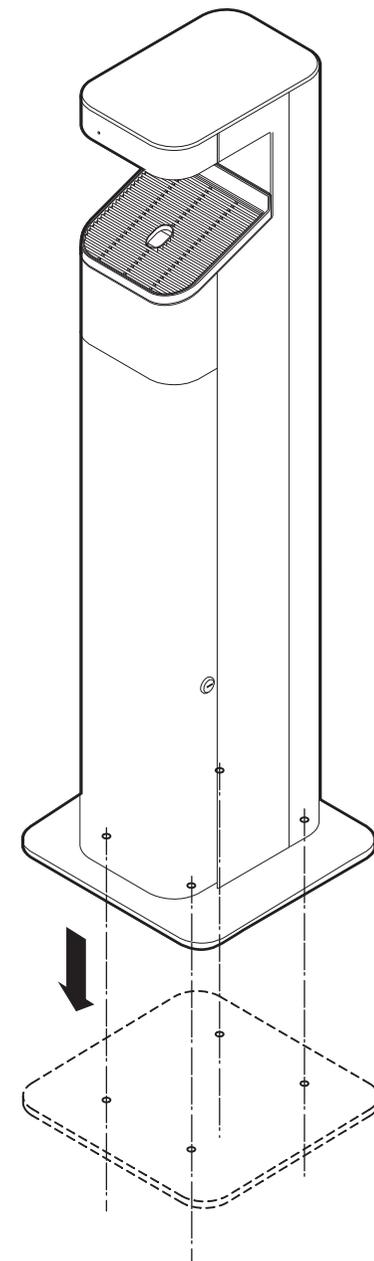
注意

次のものは使わないでください。
 シンナー・ベンジン・アルコール・石油・粉石けん・みがき粉・中性洗剤以外の洗剤類・熱湯・酸・アルカリ・たわしなど
 化学ぞうきんを使用する際は、その注意書きに従ってください。

本体の底板に、床面固定用穴を4カ所設けています。

本体を床面に固定する場合、アンカー（M8用）などで固定してください。

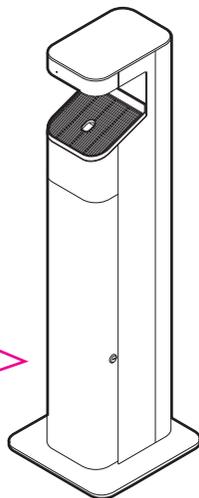
アンカーおよびボルト、ワッシャーは本品に付属していません。



扉の開閉方法

本製品にはいたずら防止などのために鍵が付いています。

- ① 鍵を鍵穴に差し込み、左に回します。
- ② 扉を開けます。
- ③ 逆の手順で施錠します。



注意

- 鍵は失くさないよう大切に保管してください。
- 鍵は必要以上に力を加えると破損する恐れがあります。

ご使用前の準備

電源との接続

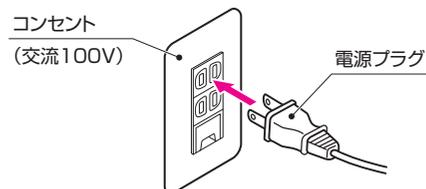
電源プラグをコンセントに差し込み、操作パネルの電源スイッチを押すと、電源ランプと液切れランプが点灯します（薬液ボトルの取り付け前）。

※液切れランプが点灯しているときは、薬液は吐出しません。

※電源スイッチが“OFF”（電源ランプが消灯）のときは、薬液は吐出しません。

注意

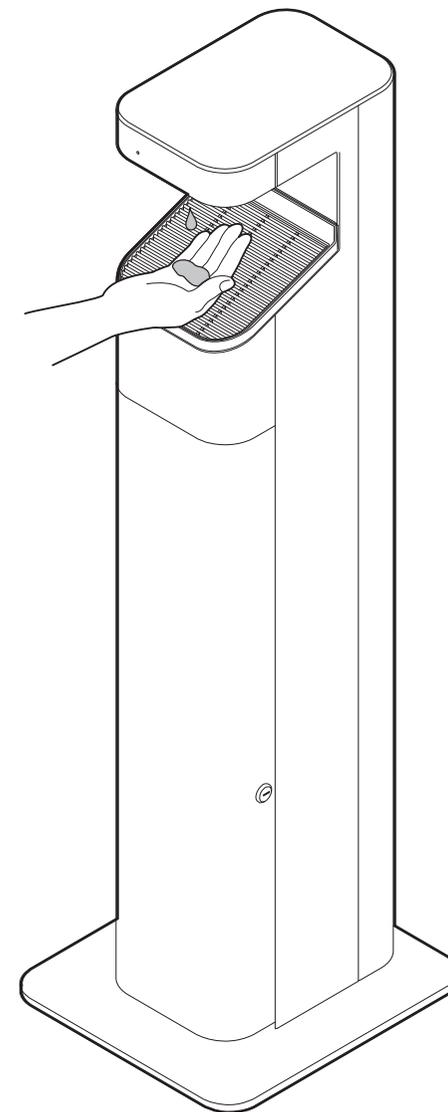
電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源スイッチを押し、“OFF”（電源ランプが消灯）にしてから抜いてください。



手指の消毒方法

手をブースに入れると薬液が吐出します。

吐出が自動的に停止したらブースから手を抜き、薬液をすり込むようにして手指全体によくのばして、完全に乾かします。



- ⑧操作パネルのボトル交換スイッチを押します。
薬液の送り込みが始まり、一定時間経過後に自動的に止まります。この動作により正常に薬液が供給された場合には、薬液切れが解除され、通常使用できる状態になります。



注意

薬液ボトルにインナーチューブとジョイントキャップをセットした後は、**必ず1度、ボトル交換スイッチを押してください。**

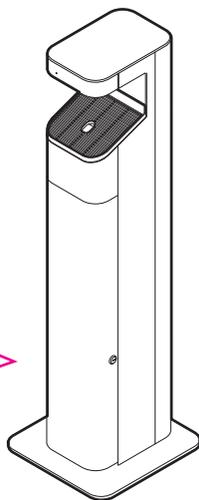
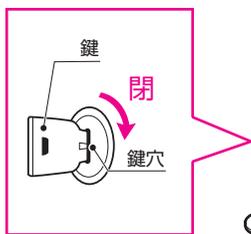
また、使用時にジョイントキャップとインナーチューブを外した場合は、インナーチューブ内に入り込む空気により、液切れセンサーが誤検知し、十分薬液が残っていても液切れランプが点灯する可能性があります。

この場合は、**薬液送りスイッチを押してください。**

薬液ボトルにジョイントキャップとインナーチューブを接続することで薬液を吐出することができます。

薬液ボトル交換時はこの2つの部材を確実に接続してください。

- ⑨本体扉を閉め、鍵を右に回して施錠します。



薬液ボトルの取り付け方法

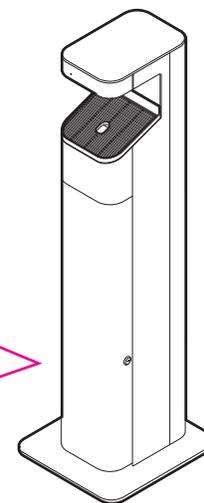
注意

- 薬液切れの状態が長時間放置すると、作動不良や故障の原因になります。速やかに薬液の交換を行ってください。
- 薬液は常に予備を用意していただき、交換の都度、お買い求めの販売店、もしくは当社のお問い合わせ窓口(裏表紙に記載)までご注文ください。

- ①本体扉の鍵穴に鍵を差し込み、左に回して開錠し、扉を開けます。

注意

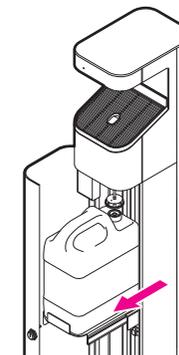
- 鍵は失くさないよう大切に保管してください。
- 鍵は必要以上に力を加えると破損する恐れがあります。



- ②新しい薬液ボトルを開栓し、インナーチューブを取り付けます。



- ③ボトル台を手前に引き出し、薬液ボトルをボトル台に設置します。
④ジョイントキャップを接続します。



⑤ ボトル台を奥に押し込みます。

⑥ 操作パネルのボトル交換スイッチを押します。

薬液の送り込みが始まり、一定時間経過後に自動的に止まります。この動作により正常に薬液が供給された場合には、薬液切れが解除され、通常使用できる状態になります。

注意

薬液ボトルにインナーチューブとジョイントキャップをセットした後は、**必ず1度、ボトル交換スイッチを押してください。**

また、使用時にジョイントキャップとインナーチューブを外した場合は、インナーチューブ内に入り込む空気により、液切れセンサーが誤検知し、十分薬液が残っていても液切れランプが点灯する可能性があります。

この場合は、**薬液送りスイッチを押してください。**

薬液ボトルにジョイントキャップとインナーチューブを接続することで薬液を吐出することができます。

薬液ボトル取り付け時はこの2つの部材を確実に接続してください。

使用中のボトルに薬液を継ぎ足さないで、ボトル毎交換してご使用ください。

薬液を継ぎ足された場合は、液切れランプ点滅表示が正しく動作しません。

また、ボトル交換時にボトル交換スイッチを押さずに、誤って薬液送りスイッチを押された場合も、液切れランプ点滅表示が正しく動作しません。

⑦ 吐出状態を確認します。

注意

●薬液ボトル取り付け直後は、正常に吐出しないことがあります。これはノズル先端まで薬液が満たされていないためです。この場合は、薬液送りスイッチを押してください。

●ノズルから薬液が吐出していない場合には、再度薬液送りスイッチを押してください。

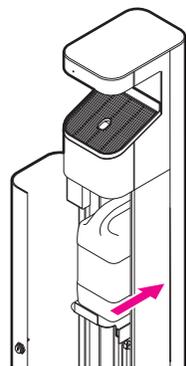
●薬液送りにより、ブース外に薬液がたれた場合は、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

●液切れランプ点灯中は、ブースに手を入れても吐出しません。

●『薬液配管内に薬液が十分に供給されている』『薬液ボトルには十分薬液が残っている』のに薬液切れ状態が継続する場合は、次の内容を確認してください。

- ・インナーチューブの先端メッシュにゴミなどが挟まっていませんか？
- ・チューブが折れていませんか？
- ・ジョイントキャップ、インナーチューブは、薬液ボトルに確実に接続されていますか？

⑧ 本体扉を閉め、鍵を右に回して施錠します。

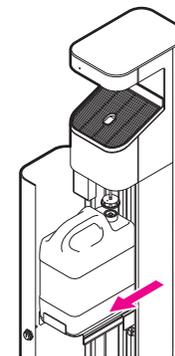


薬液ボトルの交換方法

① 本体扉の鍵穴に鍵を差し込み、左に回して開錠し、扉を開けます。

※P10【薬液ボトルの取り付け方法】参照

② ボトル台を手前に引き出します。

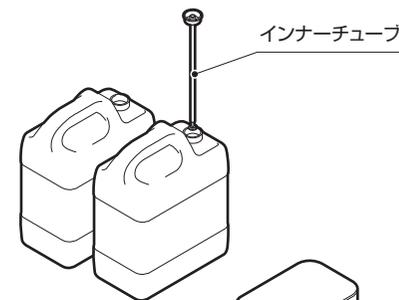
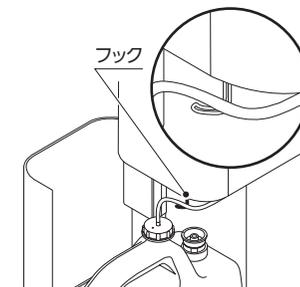


③ ジョイントキャップを外し、フックに引っ掛けます。インナーチューブは、ボトル口部に残したままにします。

④ 空ボトルを機器から取り出します。

⑤ 空ボトルの口部にあるインナーチューブを取り外し、新しいボトルに取り付けます。

⑥ 新しい薬液ボトルをボトル台に設置し、ジョイントキャップを接続します。



⑦ ボトル台を奥に押し込みます。

